

まぐろから見える世界 ⑨

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎

◆人質は600人超◆ 賊に拉致されたが、身代金が支払えず、いまだに拘束されている。ソマリア海賊は、略奪した船を母船に仕立て、その活動水域を、次第に拡大、ソマリア沿岸からはるか1500呎も離れたところで襲撃された船もあるようだ。また、身代金目当てに拉致、拘束している人質も、600人を超えていると言われている。セーシェルでも沿岸漁民が2人、海

業となっている。これまで、マグロ漁船は、この結果、海賊は、巻網漁船を襲わなくなつた。最近、マグロ延縄漁船も、ガードマンを乗船させるようになったという。現在セーシェル他2カ国のマグロ延縄漁船、約90隻に、ガードマン(3人1組)が、機関銃、自動小銃

ある国(もちろん、日本ではない)は、安全航行が脅かされる水域での武装ガードマンの乗船を認めるように法令の修正を検討していると聞いた。

俊敏にダイナミックに乗り切る

ソマリア海賊問題

外国漁業者のバイタリティーに敬服

◆武装ガードマンを乗船◆ 先日、来日したセーシエルの関係者に聞いたところ、ソマリアには、海賊グループが、現在20もあり、海賊は、3500人。確たる事

海賊の襲撃を避けたために、インド洋から退避する他に策はなかつたが、最近、状況が変

で武装し乗船しているという。3人1組、武器、弾薬付きで600米が1日、マカオに無事だったという。武器を携行した者を漁船に乗せることは、どの国も認めていないようだが、セーシェルは法令を既に改正、また、

最近、マグロ延縄漁船が3隻襲撃されたが、(あつせん)のためのニュービジネスを生んでいるのも皮肉な話だが、この数年、操業が行われていなかったインド洋漁場で、マグロ資源が回復し、大型の良質のメバチマグロが



海賊の襲撃を避けたために、インド洋から退避する他に策はなかつたが、最近、状況が変

で武装し乗船しているという。3人1組、武器、弾薬付きで600米が1日、マカオに無事だったという。武器を携行した者を漁船に乗せることは、どの国も認めていないようだが、セーシェルは法令を既に改正、また、

最近、マグロ延縄漁船が3隻襲撃されたが、(あつせん)のためのニュービジネスを生んでいるのも皮肉な話だが、この数年、操業が行われていなかったインド洋漁場で、マグロ資源が回復し、大型の良質のメバチマグロが

(毎月1回掲載)